



KAGAWA TAKAMATSU

Sustainable Urban Development
Ministers' Meeting

持続可能な都市の発展に向けた協働に関する

香川・高松原則

G7都市大臣

2023年7月9日 香川・高松

<仮訳>



我々G7 都市大臣は、7月7日から9日、香川県高松市で会合を開催し、ネット・ゼロでレジリエントな都市、更には、特に脆弱な立場にある人々、社会的に阻害された人々、不利な地域の人々が直面する偏った影響や負担をなくすために、インクルーシブな都市を実現するための方策について議論した。また、我々は都市におけるデジタル化がいかに「人間中心の都市」を可能にするか、グリーンに向けた公正な移行をいかに促進するかについても議論した。

我々は、すべての議論が、持続可能な都市の実現という目標を共有する他の主体である地方政府、市民社会、民間セクター、学界、先住民族等や、G7のみならず、新興国や開発途上国を含む全ての国と協働することの重要性を示したことを強調する。我々は、気候変動、生物多様性の損失、汚染という3つの世界的危機がもたらす複雑な課題に対し、皆で努力することにより、よりよく解決できると理解する。

我々は、このコミュニケで示された取組の指針となる香川・高松原則を発表できることを誇りに思う。

G7 首脳は、カーボンニュートラル、レジリエント、インクルーシブな都市や、都市のデジタル化、都市のためのデータと技術の利用を加速させることに関する原則の策定を検討するよう指示した。また、G7 首脳は、この作業が、都市が最も重大な課題に直面しているグローバルなパートナーとの交流を支援するものであることを述べ；

G7 都市大臣の取組は、地域に応じた人間中心の都市、民主主義、法の支配、普遍的人権という共通の価値に基づき；

G7 都市大臣の活動は、関連する国際的枠組み、合意及び宣言を理解し；

世界のなかの都市は、変化する世界の中で大きな課題に直面しながらも、変革の力を持っている。

我々は：

原則 1: 持続可能な都市のための先進的な政策アプローチを開発し、実施するため、地方政府を支援し協働する。

地方政府は、あらゆる階層の政府の中でも市民に最も身近な存在として、統合的かつ地域に根ざしたアプローチを通じて地域の実状に対応し、持続可能な都市のために非常に重要な役割を果たす。我々は、地方政府の広範な取組を歓迎し、そのイニシアティブや都市の戦略を尊重するとともに、持続可能な都市の実現に向けて能力を高めることができるよう、先進事例の共創、情報の交換・共有、共同研究の実施を通じて、地方政府を支援し、地方政府との協働を行う。

原則 2: 都市にかかる計画を周知し、解決策を生み出し、市場環境を整備し、持続可能な都市の発展に向けた取組を統合するために、市民社会、民間セクター、その他の主体の参画を得て協働する。

我々は、市民社会、民間セクター、学界、先住民族がもたらす、持続可能な都市についての相当な理解と能力を歓迎する。我々は、市民参加によってニーズが特定され、解決策が生み出されることを高く評価する。民間セクターの能力は、ネット・ゼロでレジリエンスの目標達成、デジタル化の加速などをはじめとする、都市の発展にとって重要である。我々は、持続可能な開発目標を達成し、都市にお

ける生活の質を向上させ、インパクト投資や環境・社会・ガバナンス投資など、民間セクターの金融参加を促進し奨励する市場環境の整備に向けて、こうしたパートナーとの関わりを継続し、共に取り組んでいくことにコミットする。

原則 3:新興国や開発途上国を含む国際交流の支援を通じて協働する。

新興国や開発途上国の都市部は急成長しており、都市化と気候変動という課題の影響を最も受けている。持続可能な都市をグローバルに達成するため、我々は、新興国や開発途上国を含め、G7 の枠を超えたマルチレベルの国際協力を強化する。我々は、グリーンに向けた公正な移行、インクルーシブな都市の実現、都市のデジタル化を促進するため、都市の課題に対する革新的な解決策を共同で創出し、G7 各国及びグローバル・パートナーの相互交流に取り組むとともに、経験、戦略、優良事例を共有する。我々は、国際的な都市間連携を奨励する。